

様式6（第15条第1項関係）（採択年度＝平成26年度以降）

平成27年 4月10日

独立行政法人
日本学術振興会理事長 殿

研究機関の設置者の所在地	〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号	
研究機関の設置者の名称	国立大学法人熊本大学	
代表者の職名・氏名	学長・原田 信志 (記名押印)	
代表研究機関名及び機関コード	熊本大学	17401

平成26年度戦略的国際研究交流推進事業費補助金
実績報告書

戦略的国際研究交流推進事業費補助金取扱要領第15条第1項の規定により、実績報告書を提出します。

整理番号	S2606	補助事業の完了日	平成27年 3月 31日	関連研究分野 (分科細目コード)	消化器外科学 (8302)
補助事業名（採択年度） 消化器癌におけるがん代謝メカニズム解明を目指した国際共同研究（平成26年度）				補助金支出額（別紙のとおり） 35,910,000円	

代表研究機関以外の協力機関
なし

海外の連携機関

Dana-Farber Cancer Institute and Harvard Medical School
The University of Texas MD Anderson Cancer Center
Duke-NUS Graduate Medical School
Shengjing Hospital of China Medical University
University of Southern California, Norris Comprehensive Cancer Center

1. 事業実施主体

フリガナ 担当研究者氏名	所属機関	所属部局	職名	専門分野
主担当研究者 マバ ヒデオ 馬場 秀夫	熊本大学	大学院生命科学研究部 消化器外科学	教授	消化器癌
担当研究者 マバ ヨシフミ 馬場 祥史 計2名	熊本大学	大学院生命科学研究部 消化器外科学	講師	消化器癌

フリガナ 連絡担当者	所属部局・職名	連絡先（電話番号、e-mailアドレス）
ササキ ナオト 佐々木 尚人	生命科学系事務ユニット医学事務チーム研究支援担当係長	096-373-5657 ski-shien@jimu.kumamoto-u.ac.jp

2. 本年度の実績概要

本プログラムは、世界有数の癌研究拠点施設と共同で、消化器癌におけるがん代謝制御に関わるジェネティック・エピジェネティック変化を網羅的に探索し、がん代謝を基盤とした新たな診断・治療法の開発に繋げていくことを目的としている。本年度は、Dana-Farber Cancer Institute、Duke-NUS Graduate Medical School Singapore、Shengjing Hospital of China Medical University との人的交流による共同研究を開始した。

① Dana-Farber Cancer Institute

美馬浩介特別研究員を10月1日からDana-Farber Cancer Instituteに派遣し、食生活やライフスタイル、がん代謝、腫瘍免疫、腸内細菌を包括的に解析するための技術開発に取りかかった。まずパラフィン包埋ブロックを用いたマイクロバイーム解析の信頼性についての基礎的検討を開始した。また大腸癌におけるがん代謝関連分子の発現を免疫染色により評価するために、Tissue microarrayの作成を進めた。

主担当研究者である馬場秀夫が2月11日から2月13日までDana-Farber Cancer Instituteを訪問し、連携研究者であるDr. Shuji Oginoと今後の研究推進に関する打ち合わせを行った。また、担当研究者である馬場祥史が3月18日から20日まで同施設を訪問し、具体的なプロトコール、研究計画に関する調整を行った。また、美馬研究員が円滑に研究を実施できる様にDr. Oginoとの交渉を行い、現地生活に関するアドバイスを行った。

② Duke-NUS Graduate Medical School Singapore

石本崇胤特別研究員を10月1日からDuke-NUS Graduate Medical School Singaporeに派遣し、胃癌における癌組織代謝不均衡性に関わる分子ネットワークについての解明を目指して共同研究を開始した。まず、胃癌の切除標本から腫瘍間質に存在するCarcinoma associated fibroblasts (CAFs)及びnormal fibroblasts (NFs)細胞株の樹立をおこなった。予定している統合的ゲノム解析のPilot studyとして、数例のペアを用いて次世代シーケンサーによる遺伝子発現解析を行い、興味深い結果が得られている。

③ Shengjing Hospital of China Medical University

膵癌におけるがん代謝のエピジェネティック制御に関する共同研究を開始した。膵癌細胞におけるゲノム全体のメチル化ががん代謝に与える影響を明らかにすることを目的とし、今年度はゲノム全体のメチル化レベルの指標であるLINE-1メチル化レベルの評価することとした。Shengjing Hospital of China Medical UniversityのXiaobo Zhang医師が2月16日から3月1日まで来日し、Pyrosequencing technologyを用いて膵癌100症例以上のLINE-1メチル化レベルを測定した。担当研究者である馬場祥史がメンターとして研究・生活面においてサポートを行い、熊本大学における中国からの留学生コミュニティを紹介し、熊本大学の海外留学生・研究生向け施設である国際交流会館へ宿泊、生活面での支援も可能であった。今後は膵癌のLINE-1メチル化レベルと臨床データ(PETなど)との統合解析を行い、がん代謝との関連を明らかにしていく。次年度は、Lei Zhou医師が6月1日から3か月ほど来日し、共同研究を継続する予定である。

3. 到達目標に対する本年度の達成度及び進捗状況

1) 本プログラムは、がん代謝制御に関わるジェネティック・エピジェネティック変化を網羅的に探索し、がん代謝を基盤とした新たな診断・治療法の開発に繋げていくことを目的としているため、癌細胞内の代謝状態をプロファイリングすることが極めて重要である。

そのため、細胞の主要なエネルギー代謝経路である解糖、ミトコンドリアによる好気呼吸の状態を、細胞に対して無侵襲・高感度に経時的計測が可能な世界最先端の細胞代謝アナライザーである SeahorseBioscience 社 細胞外フラックスアナライザーを購入した。胃癌細胞株においてがん幹細胞マーカーである CD44 を siRNA にて発現抑制すると、解糖系からミトコンドリア呼吸へ、糖代謝のシフトを誘導することなど極めて有望な結果が得られており、引き続き検証を進めていく。

2) Dana-Farber Cancer Institute、Duke-NUS Graduate Medical School Singapore、Shengjing Hospital of China Medical University との人的交流は本年度から開始しており、MD Anderson cancer center、University of Southern California へは平成 27 年度早々に研究員を派遣する予定である。

- ① Dana-Farber Cancer Institute との共同研究の到達目標は、大腸癌におけるがん代謝マーカーの発現と予後、分子的变化との関連を網羅的に解析し、新たながん代謝関連バイオマーカーを確立することである。美馬特別研究員は、大腸癌におけるがん代謝、microbiome に関するバイオマーカーの探索を開始しており、有望な結果が得られつつある。パラフィン包埋ブロックから抽出した DNA を用いて大腸癌組織中のグラム陰性嫌気性桿菌である *Fusobacterium nucleatum* の存在量を quantitative PCR を用いて評価し、癌組織中の T 細胞数との関連を解析した。その結果は現在投稿中である。このように、Dana-Farber Cancer Institute との共同研究は順調に進行している。
- ② Duke-NUS Graduate Medical School Singapore との共同研究の到達目標は、次世代シーケンサーを用いて胃がんゲノム解析を行い、胃癌におけるがん代謝の特徴を解析し臨床応用に直結するバイオマーカーの確立を目指すことである。本年度は、胃癌および食道胃接合部癌の切除標本から腫瘍間質に存在する癌関連線維芽細胞 (CAFs) 及び normal fibroblasts (NFs) 細胞株の樹立をおこなった。予定している統合的ゲノム解析の Pilot study として、数例のペアを用いて次世代シーケンサーによる遺伝子発現解析をおこなった。IPA software による pathway analysis (CAFs/NFs) の結果、ミトコンドリア機能障害に関わる遺伝子発現の変化に注目している。このように、Duke-NUS Graduate Medical School Singapore との共同研究はおおむね順調に進行している。
- ③ Shengjing Hospital of China Medical University との共同研究の到達目標は、膵癌におけるがん代謝の臨床的意義を PET 検査との関係から明らかにし、それに関わるエピジェネティック変化について網羅的に検証することである。まず、重要なエピゲノム変化として LINE-1 という転移因子のメチル化に着目して解析を開始しており、既に 100 例を超える膵癌症例の LINE-1 メチル化レベルを測定した。PET 検査の結果など臨床情報についてもデータベースの構築を進めており、Shengjing Hospital of China Medical University との共同研究はおおむね予定通りに進行している。
- ④ MD Anderson Cancer Center の Prof. Jaffer A. Ajani、University of Southern California の Prof. Heinz-Josef Lenz とも連絡をとっており、2015 年 7 月には原田和人、宮本裕士がそれぞれの機関へ渡米できるよう事務的手続きは順調に進んでいる。また、渡米後速やかに研究が開始できるように実験の打ち合わせも随時行っており、共同研究の計画は予定通りに進行しており、成果が期待できる。

4. 日本側研究グループ（実施主体）の研究成果発表状況（本年度分）

①学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文又は著書

論文名・著書名 等	
<p>（論文名・著書名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。）（以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・査読がある場合、印刷済及び採録決定済のものに限って記載して下さい。査読中・投稿中のものは除きます。 ・さらに数がある場合は、欄を追加して下さい。 ・著者名について、主著者に「※」印を付してください。また、主担当研究者には<u>二重下線</u>、担当研究者については<u>下線</u>、若手研究者については<u>波線</u>を付してください。 ・海外の連携機関の研究者との国際共著論文等には、番号の前に「◎」印を、また、それ以外の国際共著論文等については番号の前に「○」印を付してください。 	
1	Kuroki H※, Hayashi H, Nakagawa S, Sakamoto K, Higashi T, Nitta H, Hashimoto D, Chikamoto A, Beppu T, <u>Baba H</u> : LSKL peptide inhibits thrombospondin-1-mediated TGF-β signal activation & accelerates liver regeneration after hepatectomy in mice. <i>Br J Surg</i> (in press).
◎ 2	<u>Ishimoto T</u> ※, <u>Baba H</u> , Izumi D, Sugihara H, Kurashige J, Iwatsuki M, Tan P: MicroRNA dysregulation in gastric cancer: Current perspectives towards development of novel diagnostics and therapeutics. <i>Int J Cancer</i> (in press).
3	Ohkawa S※, Okusaka T, Isayama H, Fukutomi A, Yamaguchi K, Ikeda M, Funakoshi A, Nagase M, Hamamoto Y, Nakamori S, Tsuchiya Y, <u>Baba H</u> , Ishii H, Omuro Y, Sho M, Matsumoto S, Yamada N, Yanagimoto H, Unno M, Ichikawa Y, Takahashi S, Watanabe G, Wakabayashi G, Egawa N, Tsuda M, Hosotani R, Hamada C, Hyodo I: Randomized Phase II Trial of S-1 plus Oxaliplatin versus S-1 in Patients With Gemcitabine-Refractory Pancreatic Cancer. <i>Br J Cancer</i> (in press).
4	Beppu T※, Nitta H, Hayashi H, Imai K, Okabe H, Nakagawa S, Hashimoto D, Chikamoto A, Ishiko T, Yoshida M, Yamashita Y, <u>Baba H</u> : Branched-chain amino acid supplementation on functional liver regeneration in patients undergoing portal vein embolization and sequential hepatectomy: a randomized control trial. <i>J Gastroenterol</i> (in press).
5	Hayashi H※, Beppu T, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Yokoyama N, Higashi T, Nitta H, Hashimoto D, Chikamoto A, <u>Baba H</u> : Prognostic value of Ki-67 expression in conversion therapy for colorectal liver-limited metastases. <i>Am J Cancer Res</i> (in press).
6	Ida S※, Watanabe M, Yoshida N, <u>Baba Y</u> , Umezaki N, <u>Harada K</u> , Karashima R, <u>Imamura Y</u> , Iwagami S, <u>Baba H</u> : Sarcopenia is a predictor of postoperative respiratory complications in patients with esophageal cancer. <i>Ann Surg Oncol</i> (in press).
7	Arima K※, Chikamoto A, Hashimoto D, Kaida T, Higashi T, Taki K, Takeyama H, Okabe H, Nitta H, Hayashi H, Beppu T, <u>Baba H</u> : Hepatocellular carcinoma with duodenal metastasis. <i>J Gastroenterol Hepatol</i> (in press).
8	Daitoku N※, Okabe H, Hashimoto D, Chikamoto A, Hayashi H, Nitta H, Taki K, Higashi T, Arima K, Kaida T, Ishiko T, Beppu T, <u>Baba H</u> : Replaced common hepatic artery on left gastric artery: a rare anomaly case undergoing pancreaticoduodenectomy. <i>J Gastroenterol Hepatol</i> (in press).
9	Doi K※, Beppu T, Ishiko T, Chikamoto A, Hayashi H, Imai K, Nitta H, <u>Baba Y</u> , Masuda T, Okabe K, Kuramoto M, Kudo K, Ogata K, Ohchi T, Takamori H, Kikuchi K, <u>Baba H</u> : Endoscopic Radiofrequency Ablation in Elderly Patients with Hepatocellular Carcinoma. <i>Anticancer Res</i> (in press).
10	Nakagawa S※, Hayashi H, Nitta H, Okabe H, Sakamoto K, Higashi T, Kuroki H, Imai K, Hashimoto D, Sakamoto Y, Chikamoto A, Beppu T, <u>Baba H</u> : Scoring system based on tumor markers and Child-Pugh classification for HCC patients underwent liver resection. <i>Anticancer Res</i> (in press).
11	Sakamoto Y※, <u>Miyamoto Y</u> , Beppu T, Nitta H, Imai K, Hayashi H, <u>Baba Y</u> , Yoshida N, Chikamoto A, <u>Baba H</u> : Post-chemotherapeutic CEA and CA19-9 Are Prognostic Factors in Patients with Colorectal Liver Metastases Treated with Hepatic Resection After Oxaliplatin-based Chemotherapy. <i>Anticancer Res</i> (in press).
12	Chikamoto A※, Hashimoto D, Uchihara T, Sakamoto K, Taki K, Kuroki H, Sakata K, Hayashi H, Nitta H, Imai K, Beppu T, Ishiko T, <u>Baba H</u> : Portal vein embolization through the round ligament of the liver. <i>Hepato-Gastroenterol</i> (in press).
13	<u>Miyamoto Y</u> ※, Beppu T, Sakamoto Y, Imai K, Hayashi H, Nitta H, Ishiko T, Watanabe M, <u>Baba H</u> : Simultaneous laparoscopic resection of primary tumor and liver metastases for colorectal cancer: Surgical technique and short-term outcome. <i>Hepato-Gastroenterol</i> (in press).
14	Takeyama H※, Hashimoto D, Ikeda K, Chikamoto A, Hayashi H, Beppu T, Suzuki M, <u>Baba H</u> : Comparison of KRAS status of resected lung metastasis and primary pancreatic cancer. <i>Hepato-Gastroenterol</i> (in press).
15	Yagi T※, Hashimoto D, Chikamoto A, Ohmuraya M, Hayashi H, Beppu T, Hirota M, <u>Baba H</u> : Surgery for metastatic tumors of the pancreas. <i>Hepato-Gastroenterol</i> (in press).

16	Yoshida N✉, Eto K, <u>Baba Y</u> , Hiyoshi Y, Watanabe M, Kurashige J, Iwagami S, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , <u>Baba H</u> : Short-term outcomes after esophagectomy for esophageal cancer patients with a history of gastrectomy. <i>Hepato-Gastroenterol</i> (in press).
17	Nakamura K✉, Beppu T, Hayashi H, Okabe H, Imai K, Nitta H, Chikamoto A, Ishiko T, Sasaki M, <u>Baba H</u> : Recurrence-Free Survival of Hepatocellular Carcinoma patient with Tumor thrombosis of the Inferior Vena Cava after Treatment with Sorafenib and Hepatic Resection. <i>Int Surg</i> (in press).
18	Higashi T✉, Hayashi H, Takeyama H, Arima K, Taki K, Takamori H, <u>Baba H</u> : Evaluation of patients with hepatic portal venous gas who can be treated with conservative therapy. <i>Acute Medicine & Surgery</i> (in press).
19	Nakahara O✉, Oshima S, <u>Baba H</u> : Cardiopulmonary arrest during the Nuss procedure: a case report and review of the literature. <i>Acute Medicine & Surgery</i> (in press).
20	Higashi T✉, Hashimoto D, Hayashi H, Nitta H, Chikamoto A, Beppu T, <u>Baba H</u> : Reactive lymphoid hyperplasia of the liver requires differential diagnosis of hepatocellular carcinoma. <i>Surg Case Rep</i> (in press).
© 21	Song M✉, Nishihara R, Wang M, Chan AT, Qian ZR, Inamura K, Zhang X, Ng K, Kim SA, <u>Mima K</u> , Sukawa Y, Noshō K, Fuchs CS, Giovannucci EL, Wu K, Ogino S: Plasma 25-hydroxyvitamin D and colorectal cancer risk according to tumour immunity status. <i>Gut</i> (Doi: 10.1136/gutjnl-2014-308852, in press).
22	Kurita N✉, Miyata H, Gotoh M, Shimada M, Imura S, Kimura W, Tomita N, <u>Baba H</u> , Kitagawa Y, Sugihara K, Mori M: Risk Model for Distal Gastrectomy When Treating Gastric Cancer on the Basis of Data From 33,917 Japanese Patients Collected Using a Nationwide Web-based Data Entry System. <i>Ann Surg</i> (Doi: 10.1097/SLA.0000000000001127, in press).
23	Toyoshima K✉, Hayashi A, Kashiwagi M, Hayashi N, Iwatsuki M, <u>Ishimoto T</u> , <u>Baba Y</u> , <u>Baba H</u> , Ohta Y: Analysis of circulating tumor cells derived from advanced gastric cancer. <i>Int J Cancer</i> (Doi: 10.1002/ijc.29455, in press).
24	Koga Y✉, <u>Baba Y</u> , Karashima R, Iwagami S, <u>Miyamoto Y</u> , Sakamoto Y, Yoshida N, <u>Baba H</u> : Breast cancer recurrence in esophagus, stomach, and liver, 15 years following primary surgery: report of a case. <i>Int Canc Conf J</i> (Doi: 10.1007/s13691-014-0193-3, in press).
25	Ida S✉, Ozaki N, Araki K, Hirashima K, Zaitzu Y, Taki K, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Oki E, Morita M, Watanabe M, Maehara Y, Yamamura KI, <u>Baba H</u> , Ohmuraya M: SPINK1 Status in Colorectal Cancer, Impact on Proliferation, and Role in Colitis-associated Cancer. <i>Mol Cancer Res</i> (Doi: 10.1158/1541-7786.MCR-14-0581, in press).
26	Saeki H✉, Watanabe M, Mine S, Shigaki H, Oya S, Ishiyama A, Tsuchida T, Fujisaki J, <u>Baba H</u> , Maehara Y, Sano T: Esophagectomy for superficial esophageal cancer after non-curative endoscopic resection. <i>J Gastroenterol</i> (Doi: 10.1007/s00535-014-0983-6, in press).
27	<u>Ishimoto T</u> ✉, Izumi D, Watanabe M, Yoshida N, Hidaka K, Miyake K, Sugihara H, Sawayama H, <u>Imamura Y</u> , Iwatsuki M, Iwagami S, <u>Baba Y</u> , Horlad H, Komohara Y, Takeya M, <u>Baba H</u> : Chronic inflammation with Helicobacter pylori infection is implicated in CD44 overexpression through miR-328 suppression in the gastric mucosa. <i>J Gastroenterol</i> (Doi: 10.1007/s00535-014-1019-y, in press).
28	<u>Baba Y</u> ✉, <u>Ishimoto T</u> , <u>Harada K</u> , Kosumi K, Murata A, Miyake K, Hiyoshi Y, Kurashige J, Iwatsuki M, Iwagami S, <u>Miyamoto Y</u> , Sakamoto Y, Yoshida N, Oki E, Iyama KI, Watanabe M, <u>Baba H</u> : Molecular Characteristics of Basaloid Squamous Cell Carcinoma of the Esophagus: Analysis of KRAS, BRAF, and PIK3CA Mutations and LINE-1 Methylation. <i>Ann Surg Oncol</i> (Doi: 10.1245/s10434-015-4445-z, in press).
29	<u>Harada K</u> ✉, <u>Baba Y</u> , <u>Ishimoto T</u> , Kosumi K, Tokunaga R, Izumi D, Ida S, <u>Imamura Y</u> , Iwagami S, <u>Miyamoto Y</u> , Sakamoto Y, Yoshida N, Watanabe M, <u>Baba H</u> : Low Visceral Fat Content is Associated with Poor Prognosis in a Database of 507 Upper Gastrointestinal Cancers. <i>Ann Surg Oncol</i> (Doi: 10.1245/s10434-015-4432-4, in press).
30	Igarashi H✉, Kurihara H, Mitsuhashi K, Ito M, Okuda H, Kanno S, Naito T, Yoshii S, Takahashi H, Kusumi T, Hasegawa T, Sukawa Y, Adachi Y, Okita K, Hirata K, <u>Imamura Y</u> , <u>Baba Y</u> , Imai K, Suzuki H, Yamamoto H, Noshō K, Shinomura Y: Association of MicroRNA-31-5p with Clinical Efficacy of Anti-EGFR Therapy in Patients with Metastatic Colorectal Cancer. <i>Ann Surg Oncol</i> (Doi: 10.1245/s10434-014-4264-7, in press).
31	<u>Miyamoto Y</u> ✉, <u>Baba Y</u> , Sakamoto Y, Ohuchi M, Tokunaga R, Kurashige J, Hiyoshi Y, Iwagami S, Yoshida N, Yoshida M, Watanabe M, <u>Baba H</u> : Sarcopenia is a Negative Prognostic Factor After Curative Resection of Colorectal Cancer. <i>Ann Surg Oncol</i> (Doi: 10.1245/s10434-014-4281-6, in press).
32	Yoshida N✉, <u>Baba Y</u> , Oda E, Kosumi K, <u>Ishimoto T</u> , Watanabe M, Hiyoshi Y, Iwagami S, Kurashige J, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Sugihara H, Eto K, <u>Harada K</u> , <u>Baba H</u> : Reconstruction Using a Pedunculated Gastric Tube with Duodenal Transection After Esophagectomy and Pharyngolaryngectomy. <i>Ann Surg Oncol</i> (Doi: 10.1245/s10434-015-4427-1, in press).
33	Hashimoto D✉, Chikamoto A, Ohmuraya M, Abe S, Nakagawa S, Beppu T, Takamori H, Hirota M, <u>Baba H</u> : Impact of Postoperative Weight Loss on Survival After Resection for Pancreatic Cancer. <i>J Parenter Enteral Nutr</i> (Doi: 10.1177/0148607114520992, in press).

34	Oki E✉, Ando K, Saeki H, Nakashima Y, Kimura Y, Hiyoshi Y, <u>Imamura Y</u> , Ohgaki K, Ito S, Morita M, Ikeda T, Maehara Y: The use of a circular side stapling technique in laparoscopic low anterior resection for rectal cancer: experience of 30 serial cases. <i>Int Surg</i> (Doi: 10.9738/INTSURG-D-14-00202.1, in press).
35	<u>Harada K</u> ✉, Mine S, Yamada K, Shigaki H, Oya S, <u>Baba H</u> , Watanabe M: Long-term outcome of esophagectomy for primary malignant melanoma of the esophagus: a single-institute retrospective analysis. <i>Dis Esophagus</i> (Doi: 10.1111/dote.12331, in press).
36	Izumi D✉, <u>Ishimoto T</u> , Yoshida N, Nakamura K, Kosumi K, Tokunaga R, Sugihara H, Sawayama H, Karashima R, <u>Imamura Y</u> , Ida S, Hiyoshi Y, Iwagami S, <u>Baba Y</u> , Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Watanabe M, <u>Baba H</u> : A clinicopathological analysis of primary mucosal malignant melanoma. <i>Surg Today</i> (Doi: 10.1007/s00595-014-1041-y, in press).
37	Nakagoe T✉, Miyata H, Gotoh M, Anazawa T, <u>Baba H</u> , Kimura W, Tomita N, Shimada M, Kitagawa Y, Sugihara K, Mori M: Surgical risk model for acute diffuse peritonitis based on a Japanese nationwide database: an initial report on the surgical and 30-day mortality. <i>Surg Today</i> (Doi: 10.1007/s00595-014-1026-x, in press).
38	Saeki H✉, Nakashima Y, Zaitu Y, Tsuda Y, Kasagi Y, Ando K, <u>Imamura Y</u> , Ohgaki K, Ito S, Kimura Y, Egashira A, Oki E, Morita M, Maehara Y: Current status of and perspectives regarding neoadjuvant chemoradiotherapy for locally advanced esophageal squamous cell carcinoma. <i>Surg Today</i> (Doi: 10.1007/s00595-015-1144-0, in press).
39	Kurashige J✉, <u>Mima K</u> , Sawada G, Takahashi Y, Eguchi H, Sugimachi K, Mori M, Yanagihara K, Yashiro M, Hirakawa K, <u>Baba H</u> , Mimori K: Epigenetic modulation and repression of miR-200b by cancer-associated fibroblasts contribute to cancer invasion and peritoneal dissemination in gastric cancer. <i>Carcinogenesis</i> 36(1):133-41, 2015.
40	Eto K✉, Iwatsuki M, Watanabe M, <u>Ishimoto T</u> , Ida S, <u>Imamura Y</u> , Iwagami S, <u>Baba Y</u> , Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Yoshida N, <u>Baba H</u> : The sensitivity of gastric cancer to trastuzumab is regulated by the miR-223/FBXW7 pathway. <i>Int J Cancer</i> 136(7):1537-45, 2015.
41	Yoshida N✉, <u>Baba Y</u> , Watanabe M, Hiyoshi Y, <u>Ishimoto T</u> , Iwagami S, Kurashige J, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , <u>Baba H</u> : Triangulating Stapling Technique Covered with the Pedicled Omental Flap for Esophagogastric Anastomosis: A Safe Anastomosis with Fewer Complications. <i>J Am Coll Surg</i> 220(2):e13-6, 2015.
42	<u>Harada K</u> ✉, <u>Baba Y</u> , <u>Ishimoto T</u> , Chikamoto A, Kosumi K, Hayashi H, Nitta H, Hashimoto D, Beppu T, <u>Baba H</u> : LINE-1 Methylation Level and Patient Prognosis in a Database of 208 Hepatocellular Carcinomas. <i>Ann Surg Oncol</i> 22(4):1280-7, 2015.
43	Hiyoshi Y✉, Morita M, Kawano H, Otsu H, Ando K, Ito S, <u>Miyamoto Y</u> , Sakamoto Y, Saeki H, Oki E, Ikeda T, <u>Baba H</u> , Maehara Y: Clinical Significance of Surgical Resection for the Recurrence of Esophageal Cancer After Radical Esophagectomy. <i>Ann Surg Oncol</i> 22(1):240-6, 2015.
© 44	Inamura K✉, Yamauchi M, Nishihara R, Kim SA, <u>Mima K</u> , Sukawa Y, Li T, Yasunari M, Zhang X, Wu K, Meyerhardt JA, Fuchs CS, Harris CC, Qian ZR, Ogino S: Prognostic Significance and Molecular Features of Signet-Ring Cell and Mucinous Components in Colorectal Carcinoma. <i>Ann Surg Oncol</i> 22(4):1226-35, 2015.
45	Kasagi Y✉, Morita M, Otsu H, Kawano H, Ando K, Hiyoshi Y, Ito S, <u>Miyamoto Y</u> , Saeki H, Oki E, Maehara Y: Clinicopathological Characteristics of Esophageal Squamous Cell Carcinoma in Patients Younger Than 50 years. <i>Ann Surg Oncol</i> 22(1):311-5, 2015.
46	Uetake H✉, Yasuno M, Ishiguro M, Kameoka S, Shimada Y, Takahashi K, Watanabe T, Muro K, <u>Baba H</u> , Yamamoto J, Mizunuma N, Tamagawa H, Mochizuki I, Kinugasa Y, Kikuchi T, Sugihara K: A Multicenter Phase II Trial of mFOLFOX6 Plus Bevacizumab to Treat Liver-Only Metastases of Colorectal Cancer that are Unsuitable for Upfront Resection (TRICC0808). <i>Ann Surg Oncol</i> 22(3):908-15, 2015.
47	Hayashi H✉, Beppu T, Okabe H, Kuroki H, Nakagawa S, Imai K, Nitta H, Chikamoto A, Ishiko T, <u>Baba H</u> : Functional assessment versus conventional volumetric assessment in the prediction of operative outcomes after major hepatectomy. <i>Surgery</i> 157(1):20-6, 2015.
48	Nitta H✉, Beppu T, Itoyama A, Higashi T, Sakamoto K, Nakagawa S, <u>Mima K</u> , Okabe H, Imai K, Hayashi H, Hashimoto D, Chikamoto A, Ishiko T, <u>Baba H</u> : Poor outcomes after hepatectomy in patients with ascites infected by methicillin-resistant staphylococci. <i>J Hepatobiliary Pancreat Sci</i> 22(2):166-76, 2015.
49	Kosumi K✉, <u>Baba Y</u> , <u>Ishimoto T</u> , <u>Harada K</u> , Miyake K, Izumi D, Tokunaga R, Murata A, Eto K, Sugihara H, Shigaki H, Iwagami S, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Yoshida N, Watanabe M, Komohara Y, Takeya M, <u>Baba H</u> : Relationship between LINE-1 hypomethylation and Helicobacter pylori infection in gastric mucosae. <i>Med Oncol</i> 32(4):571, 2015.
50	Beppu T✉, Hayashi H, Okabe H, Imai K, Nitta H, Masuda T, Hashimoto D, Chikamoto A, Ishiko T, Kikuchi K, <u>Baba H</u> : Hybrid-including Endoscopic versus Open Hepatic Resection for Patients with Hepatocellular Carcinoma Meeting the Milan Criteria: A Propensity Case-matched Analysis. <i>Anticancer Res</i> 35(3):1583-90, 2015.
51	Sakamoto K✉, Beppu T, Hayashi H, Nakagawa S, Okabe H, Nitta H, Imai K, Hashimoto D, Chikamoto A, Ishiko T, Kikuchi K, <u>Baba H</u> : Antiviral Therapy and Long-term Outcome for Hepatitis B Virus-related Hepatocellular Carcinoma after Curative Liver Resection in a Japanese Cohort. <i>Anticancer Res</i> 35(3):1647-55, 2015.

52	Karashima R✉, Watanabe M, <u>Imamura Y</u> , Ida S, <u>Baba Y</u> , Iwagami S, <u>Miyamoto Y</u> , Sakamoto Y, Yoshida N, <u>Baba H</u> : Erratum to: Advantages of FDG-PET/CT over CT alone in the preoperative assessment of lymph node metastasis in patients with esophageal cancer. <i>Surg Today</i> 45(4):478, 2015.
53	Karashima R✉, Watanabe M, <u>Imamura Y</u> , Ida S, <u>Baba Y</u> , Iwagami S, <u>Miyamoto Y</u> , Sakamoto Y, Yoshida N, <u>Baba H</u> : Advantages of FDG-PET/CT over CT alone in the preoperative assessment of lymph node metastasis in patients with esophageal cancer. <i>Surg Today</i> 45(4):471-7, 2015.
54	<u>Miyamoto Y</u> ✉, Watanabe M, <u>Ishimoto T</u> , <u>Baba Y</u> , Iwagami S, Sakamoto Y, Yoshida N, Masuguchi S, Ihn H, <u>Baba H</u> : Fascia lata onlay patch for repairing infected incisional hernias. <i>Surg Today</i> 45(1):121-4, 2015.
55	Sakamoto Y✉, Karashima R, Ida S, <u>Imamura Y</u> , Iwagami S, <u>Baba Y</u> , <u>Miyamoto Y</u> , Yoshida N, <u>Baba H</u> : Diagnostic laparoscopic biopsy for intraabdominal tumors. <i>Surg Today</i> 45(3):394-6, 2015.
56	Shimizu K✉, Hashimoto D, Abe S, Chikamoto A, <u>Baba H</u> : Pancreas-preserving partial duodenectomy of the distal region for large duodenal adenoma: report of a case. <i>Surg Today</i> 45(3):390-3, 2015.
57	Yoshida N✉, <u>Baba Y</u> , Watanabe M, Ida S, <u>Ishimoto T</u> , Karashima R, Iwagami S, <u>Imamura Y</u> , Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , <u>Baba H</u> : An original scoring system for predicting postoperative morbidity after esophagectomy for esophageal cancer. <i>Surg Today</i> 45(3):346-54, 2015.
58	Iwatsuki M✉, Tanaka H, Shimizu K, Ogawa K, Yamamura K, Ozaki N, Sugiyama S, Ogata K, Doi K, <u>Baba H</u> , Takamori H: Simultaneous total laparoscopic curative resection for synchronous gastric, cecal and rectal cancer: Report of a case. <i>Int J Surg Case Rep</i> 6C:129-32, 2015.
59	Iwatsuki M✉, Takamori H, Eto K, Shimizu K, Ogawa K, Yamamura K, Ozaki N, Tanaka H, Sugiyama S, Ogata K, Doi K, Kamio T, <u>Baba H</u> : Repeated recurrence of a gastric gastrointestinal stromal tumor on the chest wall after initial curative resection: Report of a case. <i>Int J Surg Case Rep</i> 6C:36-9, 2015.
60	Morita K✉, Haga Y, Miyanari N, Sawayama H, Matsumoto K, Mizumoto T, Kubota T, <u>Baba H</u> : A case of an omphalomesenteric duct remnant in an adult treated with laparoscopic surgery. <i>Int J Surg Case Rep</i> 8C:179-81, 2015.
61	Yamao T✉, Hayashi H, Higashi T, Takeyama H, Kaida T, Nitta H, Hashimoto D, Chikamoto A, Beppu T, <u>Baba H</u> : Colon cancer metastasis mimicking intraductal papillary neoplasm of the extra-hepatic bile duct. <i>Int J Surg Case Rep</i> 10:91-3, 2015.
62	Kosumi K✉, Takamori H, Hashimoto D, Tanaka H, Abe S, Nakahara O, Horino K, <u>Baba H</u> : Mucinous cystic neoplasm of the pancreas activated during pregnancy. <i>Surg Case Rep</i> 1(1):13, 2015.
63	Yoshida M✉, Beppu T, Shiraishi S, Tsuda N, Sakamoto F, Okabe H, Hayashi H, <u>Baba H</u> , Yamashita Y: Tc-GSA SPECT/CT fused images for assessment of hepatic function and hepatectomy planning. <i>Ann Transl Med</i> 3(2):17, 2015.
64	Hashimoto D✉, Chikamoto A, Sakata K, Nakagawa S, Hayashi H, Ohmuraya M, Hirota M, Yoshida N, Beppu T, <u>Baba H</u> : Staging laparoscopy leads to rapid induction of chemotherapy for unresectable pancreaticobiliary cancers. <i>Asian J Endosc Surg</i> 8(1):59-62, 2015.
65	Beppu T✉, Sakamoto Y, Hayashi H, <u>Baba H</u> : Perioperative chemotherapy and hepatic resection for resectable colorectal liver metastases. <i>Hepatobiliary Surg Nutr</i> 4(1):72-5, 2015.
66	Arima K✉, Hashimoto D, Takata N, Doi Y, Yoshinaka I, Harada K, <u>Baba H</u> : Acute gastric volvulus in a patient with trisomy 21. <i>Surg Case Rep</i> 1(1):5, 2015.
67	<u>Baba H</u> ✉: Introduction of Surgical Case Reports: the second official journal of the Japanese Surgical Society. <i>Surg Case Rep</i> 1(1):2, 2015.
© 68	Sato H✉, Taketomi Y, Ushida A, Isogai Y, Kojima T, Hirabayashi T, Miki Y, Yamamoto K, Nishito Y, Kobayashi T, Ikeda K, Taguchi R, Hara S, Ida S, <u>Miyamoto Y</u> , Watanabe M, <u>Baba H</u> , Miyata K, Oike Y, Gelb MH, Murakami M: The Adipocyte-Inducible Secreted Phospholipases PLA2G5 and PLA2G2E Play Distinct Roles in Obesity. <i>Cell Metab</i> 20(1):119-32, 2014.
© 69	Zhu Z✉, Aref AR, Cohoon TJ, Barbie TU, <u>Imamura Y</u> , Yang S, Moody SE, Shen RR, Schinzel AC, Thai TC, Reibel JB, Tamayo P, Godfrey JT, Qian ZR, Page AN, Maciag K, Chan EM, Silkworth W, Labowsky MT, Rozhansky L, Mesirov JP, Gillanders WE, Ogino S, Hachohen N, Gaudet S, Eck MJ, Engelman JA, Corcoran RB, Wong KK, Hahn WC, Barbie DA: Inhibition of KRAS-driven tumorigenicity by interruption of an autocrine cytokine circuit. <i>Cancer Discov</i> 4(4):452-65, 2014.
© 70	Inamura K✉, Yamauchi M, Nishihara R, Lochhead P, Qian ZR, Kuchiba A, Kim SA, <u>Mima K</u> , Sukawa Y, Jung S, Zhang X, Wu K, Cho E, Chan AT, Meyerhardt JA, Harris CC, Fuchs CS, Ogino S: Tumor LINE-1 Methylation Level and Microsatellite Instability in Relation to Colorectal Cancer Prognosis. <i>J Natl Cancer Inst</i> 106(9):dju195, 2014.

71	Barbie TU✉, Alexe G, Aref AR, Li S, Zhu Z, Zhang X, <u>Imamura Y</u> , Thai TC, Huang Y, Bowden M, Herndon J, Cohoon TJ, Fleming T, Tamayo P, Mesirov JP, Ogino S, Wong KK, Ellis MJ, Hahn WC, Barbie DA, Gillanders WE: Targeting an IKBKE cytokine network impairs triple-negative breast cancer growth. <i>J Clin Invest</i> 124(12):5411-23, 2014.
72	Shahjalal HM✉, Shiraki N, Sakano D, Kikawa K, Ogaki S, <u>Baba H</u> , Kume K, Kume S: Generation of insulin-producing beta-like cells from human iPS cells in a defined and completely xeno-free culture system. <i>J Mol Cell Biol</i> 6(5):394-408, 2014.
73	Kimura W✉, Miyata H, Gotoh M, Hirai I, Kenjo A, Kitagawa Y, Shimada M, <u>Baba H</u> , Tomita N, Nakagoe T, Sugihara K, Mori M: A pancreaticoduodenectomy risk model derived from 8575 cases from a national single-race population (Japanese) using a web-based data entry system: the 30-day and in-hospital mortality rates for pancreaticoduodenectomy. <i>Ann Surg</i> 259(4):773-80, 2014.
74	Takeuchi H✉, Miyata H, Gotoh M, Kitagawa Y, <u>Baba H</u> , Kimura W, Tomita N, Nakagoe T, Shimada M, Sugihara K, Mori M: A risk model for esophagectomy using data of 5354 patients included in a Japanese nationwide web-based database. <i>Ann Surg</i> 260(2):259-66, 2014.
75	Watanabe M✉, Miyata H, Gotoh M, <u>Baba H</u> , Kimura W, Tomita N, Nakagoe T, Shimada M, Kitagawa Y, Sugihara K, Mori M: Total Gastrectomy Risk Model: Data From 20,011 Japanese Patients in a Nationwide Internet-Based Database. <i>Ann Surg</i> 260(6):1034-9, 2014.
76	Nishihara R✉, Wang M, Qian ZR, <u>Baba Y</u> , Yamauchi M, <u>Mima K</u> , Sukawa Y, Kim SA, Inamura K, Zhang X, Wu K, Giovannucci EL, Chan AT, Fuchs CS, Ogino S, Schernhammer ES: Alcohol, one-carbon nutrient intake, and risk of colorectal cancer according to tumor methylation level of IGF2 differentially methylated region. <i>Am J Clin Nutr</i> 100(6):1479-88, 2014.
77	<u>Imamura Y</u> ✉, Lochhead P, Yamauchi M, Kuchiba A, Qian ZR, Liao X, Nishihara R, Jung S, Wu K, Noshko K, Wang YE, Peng S, Bass AJ, Haigis KM, Meyerhardt JA, Chan AT, Fuchs CS, Ogino S: Analyses of clinicopathological, molecular, and prognostic associations of KRAS codon 61 and codon 146 mutations in colorectal cancer: cohort study and literature review. <i>Mol Cancer</i> 13(1):135, 2014.
78	<u>Ishimoto T</u> ✉, Sugihara H, Watanabe M, Sawayama H, Iwatsuki M, <u>Baba Y</u> , Okabe H, Hidaka K, Yokoyama N, Miyake K, Yoshikawa M, Nagano O, Komohara Y, Takeya M, Saya H, <u>Baba H</u> : Macrophage-derived reactive oxygen species suppress miR-328 targeting CD44 in cancer cells and promote redox adaptation. <i>Carcinogenesis</i> 35(5):1003-11, 2014.
79	Ito M✉, Mitsuhashi K, Igarashi H, Noshko K, Naito T, Yoshii S, Takahashi H, Fujita M, Sukawa Y, Yamamoto E, Takahashi T, Adachi Y, Nojima M, Sasaki Y, Tokino T, <u>Baba Y</u> , Maruyama R, Suzuki H, Imai K, Yamamoto H, Shinomura Y: MicroRNA-31 expression in relation to BRAF mutation, CpG island methylation and colorectal continuum in serrated lesions. <i>Int J Cancer</i> 135(11):2507-15, 2014.
80	Ishikawa S✉, Hayashi H, Kinoshita K, Abe M, Kuroki H, Tokunaga R, Tomiyasu S, Tanaka H, Sugita H, Arita T, Yagi Y, Watanabe M, Hirota M, <u>Baba H</u> : Statins inhibit tumor progression via an enhancer of zeste homolog 2-mediated epigenetic alteration in colorectal cancer. <i>Int J Cancer</i> 135(11):2528-36, 2014.
81	Okii E✉, Tsuda Y, Saeki H, Ando K, <u>Imamura Y</u> , Nakashima Y, Ohgaki K, Morita M, Ikeda T, Maehara Y: Book-Binding Technique for Billroth I Anastomosis During Totally Laparoscopic Distal Gastrectomy. <i>J Am Coll Surg</i> 219(6):e69-73, 2014.
82	Jung S✉, Qian ZR, Yamauchi M, Bertrand KA, Fitzgerald KC, Inamura K, Kim SA, <u>Mima K</u> , Sukawa Y, Zhang X, Wang M, Smith-Warner SA, Wu K, Fuchs CS, Chan AT, Giovannucci EL, Ng K, Cho E, Ogino S, Nishihara R: Predicted 25(OH)D score and colorectal cancer risk according to vitamin D receptor expression. <i>Cancer Epidemiol Biomarkers Prev</i> 23(8):1628-37, 2014.
83	Hirashima K✉, Watanabe M, Shigaki H, <u>Imamura Y</u> , Ida S, Iwatsuki M, <u>Ishimoto T</u> , Iwagami S, <u>Baba Y</u> , <u>Baba H</u> : Prognostic significance of the modified Glasgow prognostic score in elderly patients with gastric cancer. <i>J Gastroenterol</i> 49(6):1040-6, 2014.
84	<u>Ishimoto T</u> ✉, Sawayama H, Sugihara H, <u>Baba H</u> : Interaction between gastric cancer stem cells and the tumor microenvironment. <i>J Gastroenterol</i> 49(7):1111-20, 2014.
85	Kobayashi H✉, Miyata H, Gotoh M, <u>Baba H</u> , Kimura W, Kitagawa Y, Nakagoe T, Shimada M, Tomita N, Sugihara K, Mori M: Risk model for right hemicolectomy based on 19,070 Japanese patients in the National Clinical Database. <i>J Gastroenterol</i> 49(6):1047-55, 2014.
86	Beppu T✉, <u>Miyamoto Y</u> , Sakamoto Y, Imai K, Nitta H, Hayashi H, Chikamoto A, Watanabe M, Ishiko T, <u>Baba H</u> : Chemotherapy and targeted therapy for patients with initially unresectable colorectal liver metastases, focusing on conversion hepatectomy and long-term survival. <i>Ann Surg Oncol</i> 21 (Suppl 3):S405-13, 2014.
87	Ida S✉, Morita M, Hiyoshi Y, Ikeda K, Ando K, Kimura Y, Saeki H, Okii E, Kusumoto T, Yoshida S, Nakashima T, Watanabe M, <u>Baba H</u> , Maehara Y: Surgical resection of hypopharynx and cervical esophageal cancer with a history of esophagectomy for thoracic esophageal cancer. <i>Ann Surg Oncol</i> 21(4):1175-81, 2014.

88	Ida S✉, Watanabe M, Karashima R, <u>Imamura Y</u> , <u>Ishimoto T</u> , <u>Baba Y</u> , Iwagami S, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Yoshida N, <u>Baba H</u> : Changes in Body Composition Secondary to Neoadjuvant Chemotherapy for Advanced Esophageal Cancer are Related to the Occurrence of Postoperative Complications After Esophagectomy. <i>Ann Surg Oncol</i> 21(11):3675-9, 2014.
89	Imai K✉, Beppu T, Yamao T, Okabe H, Hayashi H, Nitta H, Hashimoto D, <u>Mima K</u> , Nakagawa S, Sakamoto K, Chikamoto A, Ishiko T, <u>Baba H</u> : Clinicopathological and prognostic significance of preoperative serum zinc status in patients with hepatocellular carcinoma after initial hepatectomy. <i>Ann Surg Oncol</i> 21(12):3817-26, 2014.
◎ 90	Li T✉, Liao X, Lochhead P, Morikawa T, Yamauchi M, Nishihara R, Inamura K, Kim SA, <u>Mima K</u> , Sukawa Y, Kuchiba A, <u>Imamura Y</u> , <u>Baba Y</u> , Shima K, Meyerhardt JA, Chan AT, Fuchs CS, Ogino S, Qian ZR: SMO Expression in Colorectal Cancer: Associations with Clinical, Pathological, and Molecular Features. <i>Ann Surg Oncol</i> 21(13):4164-73, 2014.
91	Murata A✉, <u>Baba Y</u> , Watanabe M, Shigaki H, Miyake K, <u>Ishimoto T</u> , Iwatsuki M, Iwagami S, Yoshida N, Oki E, Morita M, Nakao M, <u>Baba H</u> : IGF2 DMR0 methylation, loss of imprinting, and patient prognosis in esophageal squamous cell carcinoma. <i>Ann Surg Oncol</i> 21(4):1166-74, 2014.
92	Oki E✉, Emi Y, Kusumoto T, Sakaguchi Y, Yamamoto M, Sadanaga N, Shimokawa M, Yamanaka T, Saeki H, Morita M, Takahashi I, Hirabayashi N, Sakai K, Orita H, Aishima S, Kakeji Y, Yamaguchi K, Yoshida K, <u>Baba H</u> , Maehara Y: Phase II Study of Docetaxel and S-1 (DS) as Neoadjuvant Chemotherapy for Clinical Stage III Resectable Gastric Cancer. <i>Ann Surg Oncol</i> 21(7):2340-6, 2014.
93	Sawayama H✉, <u>Ishimoto T</u> , Watanabe M, Yoshida N, <u>Baba Y</u> , Sugihara H, Izumi D, Kurashige J, <u>Baba H</u> : High expression of glucose transporter 1 on primary lesions of esophageal squamous cell carcinoma is associated with hematogenous recurrence. <i>Ann Surg Oncol</i> 21(5):1756-62, 2014.
94	Watanabe M✉, <u>Baba Y</u> , Yoshida N, <u>Ishimoto T</u> , Nagai Y, Iwatsuki M, Iwagami S, <u>Baba H</u> : Outcomes of Preoperative Chemotherapy with Docetaxel, Cisplatin, and 5-Fluorouracil Followed by Esophagectomy in Patients with Resectable Node-Positive Esophageal Cancer. <i>Ann Surg Oncol</i> 21(9):2838-44, 2014.
95	Masuda T✉, Shirabe K, Ikegami T, Harimoto N, Yoshizumi T, Soejima Y, Uchiyama H, Ikeda T, <u>Baba H</u> , Maehara Y: Sarcopenia is a prognostic factor in living donor liver transplantation. <i>Liver Transpl</i> 20(4):401-7, 2014.
96	Itoyama R✉, Hashimoto D, Chikamoto A, Hayashi H, Beppu T, <u>Baba H</u> : Hepatobiliary and Pancreatic: Sigmoidal mesenteric lymph node metastasis from pancreatic cancer. <i>J Gastroenterol Hepatol</i> 29(12):1953, 2014.
97	Kuroki H✉, Hayashi H, Okabe H, Hashimoto D, Takamori H, Nakahara O, Nakagawa S, Fukushima Y, Chikamoto A, Beppu T, Hirota M, Iyama K, <u>Baba H</u> : EZH2 Is Associated with Malignant Behavior in Pancreatic IPMN via p27Kip1 Downregulation. <i>PLOS ONE</i> 9(8):e100904, 2014.
98	Horiguchi H✉, Endo M, <u>Miyamoto Y</u> , Sakamoto Y, Odagiri H, Masuda T, Kadomatsu T, Tanoue H, Motokawa I, Terada K, Morioka MS, Manabe I, <u>Baba H</u> , Oike Y: Angiopoietin-like protein 2 renders colorectal cancer cells resistant to chemotherapy by activating spleen tyrosine kinase-phosphoinositide 3-kinase-dependent anti-apoptotic signaling. <i>Cancer Sci</i> 105(12):1550-9, 2014.
◎ 99	Okabe H✉, Delgado E, Lee JM, Yang J, Kinoshita H, Hayashi H, Tsung A, Behari J, Beppu T, <u>Baba H</u> , Monga SP: Role of leukocyte cell-derived chemotaxin 2 as a biomarker in hepatocellular carcinoma. <i>PLOS ONE</i> 9(6):e98817, 2014.
100	Matsubara N✉, Miyata H, Gotoh M, Tomita N, <u>Baba H</u> , Kimura W, Nakagoe T, Simada M, Kitagawa Y, Sugihara K, Mori M: Mortality after common rectal surgery in Japan: a study on low anterior resection from a newly established nationwide large-scale clinical database. <i>Dis Colon Rectum</i> 57(9):1075-81, 2014.
101	<u>Miyamoto Y</u> ✉, Sakamoto Y, Yoshida N, <u>Baba H</u> : Efficacy of S-1 in colorectal cancer. <i>Expert Opin Pharmacother</i> 15(12):1761-70, 2014.
102	Imai K✉, Emi Y, Iyama KI, Beppu T, Ogata Y, Kakeji Y, Samura H, Oki E, Akagi Y, Maehara Y, <u>Baba H</u> , study KSGoCCA: Splenic volume may be a useful indicator of the protective effect of bevacizumab against oxaliplatin-induced hepatic sinusoidal obstruction syndrome. <i>Eur J Surg Oncol</i> 40(5):559-66, 2014.
103	Sawayama H✉, <u>Ishimoto T</u> , Sugihara H, Miyanari N, <u>Miyamoto Y</u> , <u>Baba Y</u> , Yoshida N, <u>Baba H</u> : Clinical impact of the Warburg effect in gastrointestinal cancer (Review). <i>Int J Oncol</i> 45(4):1345-54, 2014.
104	Masuda T✉, Kuramoto M, Shimada S, Ikeshima S, Yamamoto K, Nakamura K, <u>Baba H</u> : Splanchnicectomy for pancreatic cancer pain. <i>BioMed Res Int</i> 2014:941726, 2014.
◎ 105	Naito T✉, Noshio K, Ito M, Igarashi H, Mitsuhashi K, Yoshii S, Aoki H, Nomura M, Sukawa Y, Yamamoto E, Adachi Y, Takahashi H, Hosokawa M, Fujita M, Takenouchi T, Maruyama R, Suzuki H, <u>Baba Y</u> , Imai K, Yamamoto H, Ogino S, Shinomura Y: IGF2 differentially methylated region hypomethylation in relation to pathological and molecular features of serrated lesions. <i>World J Gastroenterol</i> 20(29):10050-61, 2014.
106	Imai K✉, Beppu T, Chikamoto A, <u>Mima K</u> , Okabe H, Hayashi H, Nitta H, Ishiko T, <u>Baba H</u> : Salvage treatment for local recurrence of hepatocellular carcinoma after local ablation therapy. <i>Hepatol Res</i> 44(14):E335-45, 2014.

107	Nakagawa S✉, Beppu T, Okabe H, Sakamoto K, Kuroki H, <u>Mima K</u> , Nitta H, Imai K, Hayashi H, Sakamoto Y, Hashimoto D, Chikamoto A, Ishiko T, Watanabe M, <u>Baba H</u> : Triple positive tumor markers predict recurrence and survival in early stage hepatocellular carcinoma. <i>Hepatol Res</i> 44(9):964-74, 2014.
108	Nitta H✉, Murakami Y, Wada Y, Eto M, <u>Baba H</u> , Imamura T: Cancer cells release anaphylatoxin C5a from C5 by serine protease to enhance invasiveness. <i>Oncol Rep</i> 32(4):1715-9, 2014.
109	Ikuta Y✉, Takamori H, Sakamoto Y, Hashimoto D, Chikamoto A, Kuroki H, Sakata K, Sakamoto K, Hayashi H, Imai K, Nitta H, Hirota M, Kanemitsu K, Beppu T, <u>Baba H</u> : The modified Glasgow Prognostic Score (mGPS) is a good predictor of indication for palliative bypass surgery in patients with unresectable pancreatic and biliary cancers. <i>Int J Clin Oncol</i> 19(4):629-33, 2014.
110	Okabe H✉, Beppu T, Chikamoto A, Hayashi H, Yoshida M, Masuda T, Imai K, <u>Mima K</u> , Nakagawa S, Kuroki H, Nitta H, Ishiko T, Hashimoto D, Yamashita Y, <u>Baba H</u> : Remnant liver volume-based predictors of postoperative liver dysfunction after hepatectomy: analysis of 625 consecutive patients from a single institution. <i>Int J Clin Oncol</i> 19(4):614-21, 2014.
111	Sawayama H✉, Kanemitsu K, Okuma T, Inoue K, Yamamoto K, <u>Baba H</u> : Safety of polypropylene mesh for incarcerated groin and obturator hernias: a retrospective study of 110 patients. <i>Hernia</i> 18(3):399-406, 2014.
112	Watanabe M✉, <u>Baba Y</u> , Yoshida N, <u>Ishimoto T</u> , Sakaguchi H, Kawasuji M, <u>Baba H</u> : Modified gastric pull-up reconstructions following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy. <i>Dis Esophagus</i> 27(3):255-61, 2014.
113	Yoshida N✉, Watanabe M, <u>Baba Y</u> , <u>Ishimoto T</u> , Iwagami S, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Karashima R, <u>Baba H</u> : Influence of preoperative docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil on the incidence of complications after esophagectomy for resectable advanced esophageal cancer. <i>Dis Esophagus</i> 27(4):374-9, 2014.
114	Ikeda O✉, Nakasone Y, Yokoyama K, Inoue S, Takamori H, <u>Baba H</u> , Yamashita Y: Successful treatment of mesenteric varices by retrograde transvenous obliteration by the delivery of N-butyl-2-cyanoacrylate via an abdominal wall vein. <i>Cardiovasc Intervent Radiol</i> 37(2):533-6, 2014.
115	Nagai Y✉, Beppu T, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Hayashi H, Nitta H, Imai K, Masuda T, Okabe H, Hirashima K, <u>Imamura Y</u> , <u>Baba Y</u> , Chikamoto A, <u>Baba H</u> : Carcinoembryonic Antigen Half-life Is an Early Predictor of Therapeutic Effects in Induction Chemotherapy for Liver Metastases from Colorectal Cancer. <i>Anticancer Res</i> 34(10):5529-35, 2014.
116	Beppu T✉, Emi Y, Tokunaga S, Oki E, Shirabe K, Ueno S, Kuramoto M, Kabashima A, Takahashi I, Samura H, Eguchi S, Akagi Y, Natsugoe S, Ogata Y, Kakeji Y, <u>Baba H</u> , Maehara Y, Kyushu Study Group Of Clinical Cancer: Liver Resectability of Advanced Liver-limited Colorectal Liver Metastases Following mFOLFOX6 with Bevacizumab (KSCC0802 Study). <i>Anticancer Res</i> 34(11):6655-62, 2014.
117	Yoshida M✉, Shiraishi S, Sakamoto F, Beppu T, Utsunomiya D, Okabe H, Tomiguchi S, <u>Baba H</u> , Yamashita Y: Assessment of hepatic functional regeneration after hepatectomy using Tc-GSA SPECT/CT fused imaging. <i>Ann Nucl Med</i> 28(8):780-8, 2014.
118	Okabe H✉, Beppu T, Hayashi H, <u>Mima K</u> , Nakagawa S, Kuroki H, Imai K, Nitta H, Masuda T, Hashimoto D, Chikamoto A, Watanabe M, Ishiko T, Yoshida M, Yamashita Y, <u>Baba H</u> : Rank classification based on the combination of indocyanine green retention rate at 15 min and (99m)Tc-DTPA-galactosyl human serum albumin scintigraphy predicts the safety of hepatic resection. <i>Nucl Med Commun</i> 35(5):478-83, 2014.
119	Itoyama A✉, Hashimoto D, Tsutsumi H, Chikamoto A, Beppu T, Sasaki Y, <u>Baba H</u> : Hemorrhage from the pancreatic cut end into the jejunum after binding pancreaticojejunostomy: report of a case. <i>Surg Today</i> 44(9):1754-6, 2014.
120	Arima K✉, Watanabe M, Iwatsuki M, Ida S, <u>Ishimoto T</u> , Nagai Y, Iwagami S, <u>Baba Y</u> , Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , <u>Baba H</u> : Volvulus of an ileal pouch-rectal anastomosis after subtotal colectomy for ulcerative colitis: report of a case. <i>Surg Today</i> 44(12):2382-4, 2014.
121	<u>Baba Y</u> ✉, Murata A, Watanabe M, <u>Baba H</u> : Clinical implications of the LINE-1 methylation levels in patients with gastrointestinal cancer. <i>Surg Today</i> 44(10):1807-16, 2014.
122	Hashimoto D✉, Chikamoto A, Ohmuraya M, Hirota M, <u>Baba H</u> : Pancreaticodigestive anastomosis and the postoperative management strategies to prevent postoperative pancreatic fistula formation after pancreaticoduodenectomy. <i>Surg Today</i> 44(7):1207-13, 2014.
123	Hashimoto D✉, Chikamoto A, Ohmuraya M, Sakata K, Miyake K, Kuroki H, Watanabe M, Beppu T, Hirota M, <u>Baba H</u> : Pancreatic cancer in the remnant pancreas following primary pancreatic resection. <i>Surg Today</i> 44(7):1313-20, 2014.
124	Hirashima K✉, Uchino R, Kume S, Iyama K, Honda Y, Asato T, <u>Baba H</u> : Intra-abdominal mucinous adenocarcinoma of urachal origin: report of a case. <i>Surg Today</i> 44(6):1156-60, 2014.
125	Ida S✉, Watanabe M, Yamao T, <u>Ishimoto T</u> , Nagai Y, Iwatsuki M, <u>Baba Y</u> , Iwagami S, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , <u>Baba H</u> : False-positive ¹⁸ F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography (FDG-PET) findings of bone metastasis from esophagogastric cancer: report of two cases. <i>Surg Today</i> 44(11):2191-4, 2014.

126	<u>Miyamoto Y</u> ✉, Ishii T, Tashiro J, Satoh T, Watanabe M, <u>Baba H</u> , Yamaguchi S: Effects of obesity on the outcome of laparoscopic surgery for colorectal cancer. <i>Surg Today</i> 44(7):1293-9, 2014.
127	<u>Miyamoto Y</u> ✉, Watanabe M, Sakamoto Y, Shigaki H, Murata A, Sugihara H, Eto K, <u>Ishimoto T</u> , Iwatsuki M, <u>Baba Y</u> , Iwagami S, Yoshida N, <u>Baba H</u> : Evaluation of the necessity of primary tumor resection for synchronous metastatic colorectal cancer. <i>Surg Today</i> 44(12):2287-92, 2014.
128	Suzuki M✉, Ikeda K, Shiraishi K, Eguchi A, Mori T, Yoshimoto K, Shibata H, Ito T, <u>Baba Y</u> , <u>Baba H</u> : Aberrant methylation and silencing of expression in non-small cell lung cancer. <i>Oncol Lett</i> 8(3):1025-30, 2014.
129	Tsukamoto M✉, Hashimoto D, Chikamoto A, Abe S, Ohmuraya M, <u>Baba H</u> : Clinical features and management of pancreatic solid pseudopapillary tumor. <i>Am Surg</i> 80(12):1212-5, 2014.
130	<u>Baba Y</u> ✉, Watanabe M, Yoshida N, Kawanaka K, Yamashita Y, <u>Baba H</u> : Radiofrequency ablation for pulmonary metastases from gastrointestinal cancers. <i>Ann Thorac Cardiovasc Surg</i> 20(2):99-105, 2014.
131	Hiyoshi Y✉, Oki E, Zaitu Y, Ando K, Ito S, Saeki H, Morita M, Yamamoto H, <u>Baba H</u> , Maehara Y: IgG4-related disease of the ileocecal region mimicking malignancy: A case report. <i>Int J Surg Case Rep</i> 5(10):669-72, 2014.
132	Ozaki N✉, Hashimoto D, Ikuta Y, Chikamoto A, Takamori H, <u>Baba H</u> : Definitive diagnosis of a duplicate gallbladder can only be made intraoperatively: report of a case. <i>Clin J Gastroenterol</i> 7(4):338-41, 2014.
133	Hayashi H✉, Higashi T, Takeyama H, Sakamoto K, Kuroki H, Nitta H, Hashimoto D, Chikamoto A, Beppu T, <u>Baba H</u> : Tumor Shrinkage in Response to Vitamin K2 in Hepatocellular Carcinoma with Multiple Lung Metastases: A Case Report. <i>AJCC Rep</i> 2(2):20140548, 6 pages, 2014.
134	Beppu T✉, Nitta H, Tsukamoto M, Imai K, Hayashi H, Okabe H, Hashimoto D, Chikamoto A, Ishiko T, <u>Baba H</u> : Percutaneous radiofrequency ablation-assisted laparoscopic hepatectomy. <i>Asian J Endosc Surg</i> 7(2):188-92, 2014.
135	Ida S✉, Oki E, Ando K, Kimura Y, Yamashita Y, Saeki H, Ikegami T, Yoshizumi T, Watanabe M, Morita M, Shirabe K, Kusumoto T, Ikeda T, <u>Baba H</u> , Maehara Y: Pure laparoscopic right-sided hepatectomy in the semi-prone position for synchronous colorectal cancer with liver metastases. <i>Asian J Endosc Surg</i> 7(2):133-7, 2014.
136	Toihata T✉, Hashimoto D, Hayashi H, Chikamoto A, Beppu T, <u>Baba H</u> : Intraoperative gastrojejunoscopy-assisted fistulojejunostomy for postoperative pancreatic fistula. <i>Asian J Endosc Surg</i> 7(4):311-3, 2014.
137	Komori H✉, Beppu T, Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , Hayashi H, Imai K, Nitta H, Watanabe M, <u>Baba H</u> : Irinotecan Plus S-1 Followed by Hepatectomy for a Patient with Initially Unresectable Colorectal Liver Metastases, Who Showed Severe Drug Rash with Oxaliplatin Plus 5-FU and Leucovorin (FOLFOX). <i>Case Rep Gastrointest Med</i> 2014(2014):Article ID 906759, 4 pages, 2014.
138	<u>Ishimoto T</u> ✉, <u>Baba H</u> : Targeting cancer stem cells in gastric cancer <i>Gastrointestinal Cancer: Targets and Therapy</i> 2014(4):123-9, 2014.
139	Watanabe M✉, Mine S, Yamada K, Shigaki H, <u>Baba Y</u> , Yoshida N, Kajiyama K, Yamamoto N, Sano T, <u>Baba H</u> : Outcomes of lymphadenectomy for lymph node recurrence after esophagectomy or definitive chemoradiotherapy for squamous cell carcinoma of the esophagus. <i>Gen Thorac Cardiovasc Surg</i> 62(11):685-92, 2014.
140	Beppu T✉, Sakamoto Y, Imai K, Hayashi H, Nitta H, <u>Miyamoto Y</u> , Chikamoto A, Watanabe M, <u>Baba H</u> : A patient with colorectal liver metastases with para-aortic regional lymph node metastases who survived for 7 years. <i>Int Canc Conf J</i> 3(3):153-7, 2014.
141	Ikuta Y✉, Chikamoto A, Hayashida S, Hashimoto D, Eto T, Beppu T, Asonuma K, Inomata Y, <u>Baba H</u> : Cancer of the head of the pancreas treated with pancreaticoduodenectomy with reconstruction of the replaced common hepatic artery. <i>Int Canc Conf J</i> 3(4):264-7, 2014.
142	Kaida T✉, Chikamoto A, Kiyozumi Y, Nitta H, Imai K, Nakahara O, Ikuta Y, Doi K, Ishiko T, Takamori H, Beppu T, <u>Baba H</u> : Neuroendocrine tumor in the Glissonean pedicle of the hepatic hilum. <i>Int Canc Conf J</i> 3(2):72-6, 2014.
143	Nakamura K✉, Watanabe M, Nagai Y, <u>Imamura Y</u> , Iwagami S, Iwatsuki M, <u>Ishimoto T</u> , <u>Baba Y</u> , Sakamoto Y, <u>Miyamoto Y</u> , <u>Baba H</u> : Cervical intramedullary spinal cord metastasis from esophageal cancer. <i>Int Canc Conf J</i> 3(3):161-4, 2014.
144	Sakamoto Y✉, Nakagawa S, Abe S, Hashimoto D, Chikamoto A, Watanabe M, Beppu T, <u>Baba H</u> : Widespread portal venous thrombosis in a patient with pancreatic cancer. <i>Int Canc Conf J</i> 3(4):237-41, 2014.
145	<u>Baba Y</u> ✉, Watanabe M, Yoshida N, <u>Baba H</u> : Neoadjuvant treatment for esophageal squamous cell carcinoma. <i>World J Gastrointest Oncol</i> 6(5):121-8, 2014.

②学会等における発表

発表題名 等	
<p>(発表題名、発表者名、発表した学会等の名称、開催場所、口頭発表・ポスター発表の別、審査の有無、発表年月(西暦)について記入してください。)(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。)</p> <p>・発表者名は参加研究者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること。共同発表者がいる場合は、全ての発表者名を記載し、主たる発表者名は「※」印を付して下さい。発表者名について主担当研究者には<u>二重下線</u>、担当研究者については<u>下線</u>、若手研究者については<u>波線</u>を付して下さい。</p> <p>・口頭・ポスターの別、発表者決定のための審査の有無を区分して記載して下さい。</p> <p>・さらに数がある場合は、欄を追加して下さい。</p> <p>・海外の連携機関の研究者との国際共同発表には、番号の前に「◎」印を、また、それ以外の国際共同発表については番号の前に○印を付して下さい。</p>	
◎ 1	大腸癌における KRAS codon 12, 13, 61, 146 変異の臨床病理分子学的特徴、 <u>今村 裕</u> , Shuji Ogino, Charles S Fuchs, <u>馬場秀夫</u> 、第 114 回日本外科学会定期学術集会、国立京都国際会館、ポスター、審査有、2014 年 4 月 4 日
2	食道扁平上皮癌における術前内臓脂肪と臨床病理学的因子の解析、原田和人、 <u>馬場 祥史</u> 、泉 大輔、小澄 敬祐、徳永 竜馬、江藤 弘二郎、杉原 栄孝、村田 飛鳥、澤山 浩、井田 智、辛島 龍一、 <u>今村 裕</u> 、 <u>石本 崇胤</u> 、岩上 志朗、坂本 快郎、 <u>宮本 裕士</u> 、吉田 直矢、渡邊 雅之、 <u>馬場 秀夫</u> 、第 114 回日本外科学会定期学術集会、国立京都国際会館、ポスター、審査有、2014 年 4 月 4 日
3	消化器癌における CD44 発現制御機構を標的とした治療戦略、 <u>石本崇胤</u> 、杉原 栄孝、泉 大輔、辛島 龍一、井田 智、 <u>今村 裕</u> 、岩上 志朗、 <u>馬場 祥史</u> 、坂本 快郎、 <u>宮本 裕士</u> 、吉田 直矢、 <u>馬場 秀夫</u> 、第 114 回日本外科学会定期学術集会、国立京都国際会館、口頭、審査有、2014 年 4 月 5 日
4	直腸癌局所再発に対する外科治療、 <u>宮本裕士</u> 、坂本 快郎、辛島 龍一、井田 智、 <u>今村 裕</u> 、 <u>石本 崇胤</u> 、 <u>馬場 祥史</u> 、岩上 志朗、吉田 直矢、 <u>馬場 秀夫</u> 、第 114 回日本外科学会定期学術集会、国立京都国際会館、口頭、審査有、2014 年 4 月 5 日
5	The relationship between LINE-1 hypomethylation and fibrosis status in noncancerous liver tissues of hepatocellular carcinoma patients、 <u>Yoshifumi Baba</u> , <u>Kazuto Harada</u> , Keisuke Kosumi, Hiromitsu Hayashi, Hidetoshi Nitta, Daisuke Hashimoto, Akira Chikamoto, Toru Beppu, <u>Hideo Baba</u> . AACR Annual Meeting 2014, San Diego, California、ポスター、審査有、2014 年 4 月 6 日
6	Clinical, pathological and prognostic value of LINE-1 methylation in hepatocellular carcinoma. <u>Kazuto Harada</u> , <u>Yoshirumi Baba</u> , Akira Chikamoto, Takatsugu Ishimoto, Keisuke Kosumi, Asuka Murata, Naoya Yoshida, Toru Beppu, <u>Hideo Baba</u> . AACR Annual Meeting 2014, San Diego, California、ポスター、審査有、2014 年 4 月 7 日
7	Macrophage-derived reactive oxygen species suppress miR-328 targeting CD44 in gastrointestinal cancer cells and promote redox adaptation. <u>Takatsugu Ishimoto</u> , Naoya Yoshida, Hidetaka Sugihara, Daisuke Izumi, Keisuke Miyake, Hiroshi Sawayama, <u>Yu Imamura</u> , Shiro Iwagami, <u>Yoshifumi Baba</u> , <u>Hideo Baba</u> . AACR Annual Meeting 2014, San Diego, California、ポスター、審査有、2014 年 4 月 8 日
8	Visceral fat content, clinical features, and prognosis in a database of 507 upper gastrointestinal cancers. Kazuto Harada, <u>Yoshifumi Baba</u> , Keisuke Kosumi, Ryuichi Karashima, <u>Yu Imamura</u> , Shiro Iwagami, Yasuo Sakamaoto, Naoya Yoshida, <u>Hideo Baba</u> . 2014 ASCO Annual Meeting, McCormick Place, Chicago, Illinois、ポスター、審査有、2014 年 5 月 31 日
9	食道癌に対する術前 DCF 療法の効果予測 -1 コース後の PET SUV 値を用いて-、 <u>馬場 祥史</u> 、渡邊 雅之、辛島 龍一、井田 智、 <u>今村 裕</u> 、岩上 志朗、坂本 快郎、 <u>宮本裕士</u> 、吉田 直矢、 <u>馬場秀夫</u> 、第 68 回日本食道学会学術集会、東京ドームホテル、口頭、審査有、2014 年 7 月 3 日
10	食道扁平上皮癌における術前筋肉量と臨床病理学的因子の解析、原田 和人、 <u>馬場祥史</u> 、小澄 敬祐、井田 智、 <u>今村 裕</u> 、坂本 快郎、岩上 志朗、 <u>宮本裕士</u> 、吉田 直矢、 <u>馬場秀夫</u> 、第 68 回日本食道学会学術集会、東京ドームホテル、ポスター、審査有、2014 年 7 月 4 日
11	高齢者(75 歳以上)大腸癌手術の検討、 <u>宮本 裕士</u> 、坂本 快郎、大内 繭子、徳永 竜馬、日吉 幸晴、 <u>馬場祥史</u> 、岩上 志朗、吉田 直矢、 <u>馬場秀夫</u> 、第 81 回大腸癌研究会、名古屋観光ホテル、口頭、審査有、2014 年 7 月 4 日

12	80歳以上の高齢者食道癌に対する手術成功の網羅的解析、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>日吉幸晴</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第42回九州食道癌合併療法談話会、ホテルニューオータニ博多、口頭、審査有、2014年7月12日
13	sarcopeniaは大腸癌切除症例の予後因子である、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>井田智</u> 、 <u>今村裕</u> 、 <u>石本崇胤</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第69回日本消化器外科学会総会、郡山総合体育館、口頭、審査有、2014年7月16日
14	頸部食道胃管吻合における三辺外翻三角吻合及び大網弁被覆の有用性、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>渡邊雅之</u> 、 <u>井田智</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>今村裕</u> 、 <u>石本崇胤</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第69回日本消化器外科学会総会、郡山市民文化センター、ヒテパシウム、審査有、2014年7月17日
15	食道胃接合部癌の壁内進展距離の検討、 <u>今村裕</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>石本崇胤</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>井田智</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第69回日本消化器外科学会総会、郡山総合体育館、口頭、審査有、2014年7月18日
16	肝細胞癌のLINE-1メチル化レベルと臨床病理学的因子の検討、 <u>原田和人</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>近本亮</u> 、 <u>村田飛鳥</u> 、 <u>新田英利</u> 、 <u>林洋光</u> 、 <u>橋本大輔</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>別府透</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第69回日本消化器外科学会総会、郡山総合体育館、口頭、審査有、2014年7月18日
17	他臓器転移を有するStage IV大腸癌における予後因子、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>井田智</u> 、 <u>今村裕</u> 、 <u>石本崇胤</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第12回日本臨床腫瘍学会学術集会、Fukuoka International Congress Center、口頭、審査有、2014年7月17日
18	上部消化管癌における周術期輸血の予後に対する影響、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>小澄敬祐</u> 、 <u>原田和人</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>井田智</u> 、 <u>今村裕</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第52回日本癌治療学会学術集会、パシフィコ横浜、口頭、審査有、2014年8月28日
19	切除不能大腸癌に対するSOX、IRIS療法の有用性、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>井田智</u> 、 <u>今村裕</u> 、 <u>石本崇胤</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第52回日本癌治療学会学術集会、パシフィコ横浜、口頭、審査有、2014年8月29日
20	Prognostic significance of sarcopenia in patients with resectable colorectal cancer. <u>Yuji Miyamoto</u> , <u>Yasuo Sakamoto</u> , <u>Mayuko Ohuchi</u> , <u>Ryuma Tokunaga</u> , <u>Yukiharu Hiyoshi</u> , <u>Shiro Iwagami</u> , <u>Yoshifumi Baba</u> , <u>Naoya Yoshida</u> , <u>Hideo Baba</u> . 第14回日中韓大腸癌シンポジウム、Congres Convention Center (大阪府)、口頭、審査有、2014年9月13日
21	大腸癌におけるERCC1 isoformの発現レベル、 <u>原田和人</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>小澄敬祐</u> 、 <u>中村健一</u> 、 <u>泉大輔</u> 、 <u>徳永竜馬</u> 、 <u>日吉幸晴</u> 、 <u>石本崇胤</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第73回日本癌学会学術集会、パシフィコ横浜、ポスター、審査有、2014年9月27日
22	術前併存症を有する食道癌症例に対する手術成績の網羅的検討～E-PASS scoring systemなどを用いて～、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>日吉幸晴</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第67回日本胸部外科学会定期学術集会、福岡国際会議場・福岡サンパレスホール、口頭、審査有、2014年10月1日
23	Prognostic Nutritional Indexおよびmodified Glasgow prognostic Scoreと食道扁平上皮癌術後予後の関連、 <u>原田和人</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>小澄敬祐</u> 、 <u>泉大輔</u> 、 <u>徳永竜馬</u> 、 <u>江藤弘二郎</u> 、 <u>杉原栄孝</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>日吉幸晴</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第67回日本胸部外科学会定期学術集会、福岡国際会議場・福岡サンパレスホール、ポスター、審査有、2014年10月1日
24	食道癌手術における肝円索を用いた経胃管的栄養チューブ挿入、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>原田和人</u> 、 <u>小澄敬祐</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>日吉幸晴</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第67回日本胸部外科学会定期学術集会、福岡国際会議場・福岡サンパレスホール、口頭、審査有、2014年10月2日
25	Pedunculated gastric conduit interposition with duodenal transection: an option for increasing the flexibility of the gastric conduit. <u>Baba Y</u> , <u>Hiyoshi Y</u> , <u>Kurashige J</u> , <u>Iwagami S</u> , <u>Sakamoto Y</u> , <u>Sakata K</u> , <u>Nitta H</u> , <u>Hayashi H</u> , <u>Chikamoto A</u> , <u>Ishiko T</u> , <u>Beppu T</u> , <u>Baba H</u> . 第6回日本ハンガリーポーランド外科学会、慶応大学三田キャンパス、ポスター、審査有、2014年10月17日

26	Prognostic Nutritional Index and modified Glasgow prognostic Score, clinical features, and prognosis in a database of 310 esophageal cancers. <u>Harada K</u> , <u>Baba Y</u> , <u>Kosumi K</u> , <u>Hiyoshi Y</u> , <u>Iwagami S</u> , <u>Miyamoto Y</u> , <u>Sakamoto Y</u> , <u>Yoshida N</u> , <u>Baba H</u> . 第6回日本ハンガリーポーランド外科学会、慶応大学三田キャンパス、口頭、審査有、2014年10月17日
27	Sarcopenia as a prognostic factor among patients with Stage I-III colorectal cancer. <u>Miyamoto Y</u> , <u>Sakamoto Y</u> , <u>Ohuchi M</u> , <u>Tokunaga R</u> , <u>Hiyoshi Y</u> , <u>Baba Y</u> , <u>Iwagami S</u> , <u>Yoshida N</u> , <u>Baba H</u> . 第6回日本ハンガリーポーランド外科学会、慶応大学三田キャンパス、ポスター、審査有、2014年10月18日
28	肝細胞癌におけるLINE-1メチル化レベルの網羅的解析 -Marker for epigenetic field defect and prognosis-、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>別府透</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、JDDW2014、神戸国際展示場、口頭、審査有、2014年10月23日
29	食道扁平上皮癌におけるサルコペニアと栄養評価指数(PNI, mGPS)との関係、 <u>原田和人</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>石本崇胤</u> 、 <u>小澄敬祐</u> 、 <u>泉大輔</u> 、 <u>徳永竜馬</u> 、 <u>江藤弘二郎</u> 、 <u>杉原栄孝</u> 、 <u>井田 智</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>今村 裕</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、JDDW2014、神戸国際展示場、ポスター、審査有、2014年10月25日
30	切除不能大腸癌における化学療法前の骨格筋量測定の意義、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>辛島龍一</u> 、 <u>今村 裕</u> 、 <u>井田 智</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、JDDW2014、神戸国際展示場、ポスター、審査有、2014年10月25日
31	大腸癌肺転移に対するラジオ派凝固療法、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>大内繭子</u> 、 <u>徳永竜馬</u> 、 <u>日吉幸晴</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>河中功一</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第69回日本大腸肛門病学会学術集会、横浜ベイホテル東急・パシフィコ横浜、口頭、審査有、2014年11月7日
32	ケースカンファレンス どう治療する？ 食道癌、 <u>馬場祥史</u> 、第66回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会、高知県立県民文化ホール、口頭、審査有、2014年11月14日
33	Liver resectability following S-1+L-OHP with cetuximab as the first-line treatment of unresectable liver limited metastases from KRAS exon 2 wild-colorectal cancer in Japanese patients (KSCC 1002). <u>Yuji Miyamoto</u> , <u>Yasunori Emi</u> , <u>Shoji Tokunaga</u> , <u>Toru Beppu</u> , <u>Yoshihiro Kakeji</u> , <u>Eiji Oki</u> , <u>Hiroshi Saeki</u> , <u>Shinichiro Mori</u> , <u>Masafumi Inomata</u> , <u>Yoshito Akagi</u> , <u>Hideo Baba</u> , <u>Shoji Natsugoe</u> , <u>Yutaka Ogata</u> , <u>Yoshihiko Maehara</u> , <u>Kyushu Study Group of Clinical Cancer (KSCC)</u> . ASCO GI 2015, Moscon West Building, ポスター、審査有、2015年1月17日
34	腹腔鏡下直腸切除術の短期・長期成績の検討、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>大内繭子</u> 、 <u>徳永竜馬</u> 、 <u>藏重淳二</u> 、 <u>日吉幸晴</u> 、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第82回大腸癌研究会、JPタワーホール、口頭、審査有、2015年1月23日
35	食道癌におけるepigenetic changeの網羅的解析、 <u>馬場祥史</u> 、 <u>石本崇胤</u> 、 <u>日吉幸晴</u> 、 <u>藏重淳二</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>坂本快郎</u> 、 <u>宮本裕士</u> 、 <u>吉田直矢</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、第25回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会、宇都宮東武ホテルグランデ、口頭、審査有、2015年2月21日
36	予後解析とリンパ節郭清効果 index から考える Siewert type II 食道胃接合部癌の治療方針、 <u>今村裕</u> 、 <u>沖英次</u> 、 <u>岩上志朗</u> 、 <u>徳永竜馬</u> 、 <u>中村健一</u> 、 <u>中司悠</u> 、 <u>津田康雄</u> 、 <u>中島雄一郎</u> 、 <u>安藤幸滋</u> 、 <u>大垣吉平</u> 、 <u>佐伯浩司</u> 、 <u>馬場秀夫</u> 、 <u>前原喜彦</u> 、第87回日本胃癌学会総会、広島県立総合体育館、口頭、審査有、2015年3月5日

5. 若手研究者の派遣実績（計画）

【海外派遣実績（計画）】

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	合計
派遣人数	2 人	4 人 (2 人)	4 人 (3 人)	5 人

※当該年度は実績、次年度以降は計画している人数を記載

【本年度の海外派遣実績】

派遣者①の氏名・職名：美馬 浩介・研究員

<p>（当該若手研究者の国際共同研究における役割を含めた具体的な研究活動） 食生活やライフスタイル、がん代謝、腫瘍免疫、腸内細菌を包括的に解析するための技術開発を目指す。 （具体的な成果）パラフィン包埋ブロックを用いたマイクロバイーム解析およびメタボローム解析の信頼性についての基礎的検討、及び大腸癌におけるがん代謝関連分子の発現を解析するための Tissue microarray 構築を行っている。大腸癌組織中の細菌 <i>Fusobacterium nucleatum</i> の存在量と腫瘍免疫との関連についての研究成果についての論文を投稿中である。</p>				
派遣先 （国・地域名、機関名、部局名、受入研究者）	派遣期間			合計
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
米国、Dana-Farber Cancer Institute Dept. of Medical Oncology, Shuji Ogino	172 日	365 日	日	537 日

派遣者②の氏名・職名：石本 崇胤・研究員

<p>（当該若手研究者の国際共同研究における役割を含めた具体的な研究活動） 癌組織の代謝不均衡性に対して腫瘍微小環境が与える影響について、ゲノム解析技術を用いてアプローチする。 （具体的な成果）胃癌の切除標本から腫瘍間質に存在する Carcinoma associated fibroblasts (CAFs) 及び normal fibroblasts (NFs) の細胞株を樹立した。Pilot study として、数例のペアを用いて次世代シーケンサーによる遺伝子発現解析をおこなった。</p>				
派遣先 （国・地域名、機関名、部局名、受入研究者）	派遣期間			合計
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
シンガポール、Duke-NUS Graduate Medical School Singapore, Patrick Tan	173 日	365 日	200 日	738 日

※本年度の派遣者毎に作成すること。

6. 研究者の招へい実績（計画）

【招へい実績（計画）】

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	合計
招へい人数	1 人	2 人 (1 人)	1 人 (1 人)	2 人

※当該年度は実績、次年度以降は計画している人数を記載

【本年度の招へい実績】

招へい者①の氏名・職名： 張 小薄 (Xianbo Zhang) ・ Associate professor

<p>（当該研究者の国際共同研究における役割を含めた具体的な研究活動）</p> <p>張 小薄医師は、膵癌症例のホルマリン固定パラフィン包埋組織より DNA を抽出し、バイサルファイト、LINE-1 増幅、パイロシークエンスによるメチル化レベルの測定を行った。また、消化器外科医局員に対して中国における膵癌治療、これまでの研究成果についての講演を行い、膵癌という病態とそのメカニズムを global な視点で検討する重要性を再確認した。</p> <p>（具体的な成果）</p> <p>膵癌 120 例、正常膵 36 例の LINE-1 メチル化レベルを測定することができた。その結果は、癌部と非癌部の LINE-1 メチル化レベルの比較、および LINE-1 メチル化レベルと臨床病理学的因子との関係、予後との関係について解析中であり、学会や論文発表を予定している。</p>				
招へい元（機関名、部局名、国名）及び 日本側受入研究者（機関名）	招へい期間			合計
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	
Shengjing Hospital of China Medical University, Department of Pancreatic and Thyroidal Surgery, China、馬場秀夫（熊本大学）	14 日	200 日	0 日	214 日

※本年度の招へい者毎に作成すること

7. 翌年度の補助事業の遂行に関する計画

※ 補助事業が完了せずに国の会計年度が終了した場合における実績報告書には、翌年度の補助事業の遂行に関する計画を附記すること。